

城下まちづくり

通信

第19号



長かった酷暑も去り、ようやく過ごしやすい日々となりました。城下地区の皆様におかれましては、お元気でお過ごしのことと存じます。

本号では、令和7年度前半(4月～9月)の主な取り組みについてご報告します。

行政への要望活動

次の2項目について、土屋陽一上田市長へ要望活動を行いました。

1 放課後児童対策についての要望(6月24日実施)

- ・要望項目 城下小学校区放課後施設の再構築について
- ・要望内容

現在、城下小学校区には学童保育所「たんぼぼ」(2カ所)、「朝日が丘児童館」が設置されているが、いずれの施設も手狭でかつ老朽化が進み、健全育成の場とは言い難い状況にあり、地震等災害時における安全対策ほかの課題がある。については、次の2つの方策を提案し、施設の再構築を要望する。

- ① 分散している学童保育所2施設を1施設に集約し、安心安全な施設として再構築すること。
- ② 児童館と学童保育所3施設を1施設に集約し、安心安全な施設として再構築すること。

- ・市の対応

要望を真摯に受け止めていただき、市長自ら現場確認することを確約、7月8日に実施された。今後、要望の実現に向けての取り組みが進められることとなる。

- ・出席者〔上田市側〕 市長、教育次長、学校教育課長 他

〔要望者側〕 宮下市議、増澤未来会議会長、関城下自治連会長、
神田たんぼぼ運営委員会委員長 他



2 防災対策についての要望(8月18日実施)

- ・要望項目 城下地区水害時の指定避難場所等の新たな指定及び方策について

- ・要望内容

令和元年の台風19号により、城下地区では甚大な被害が生じた。市においては水害ということから指定避難場所である城下小学校、南小学校、第四中学校及び上田千曲高校を災害発生当日に除外した。これについては関係者に対し事前に連絡がなかったため、地区住民は不安な一夜を過ごし、自治会においては対応に混乱が生じるなど、防災対策への懸念や課題を残す結果となった。については、次の項目について早急な方策を講じていただくよう要望する。

- ① 城下地区の水害時における新しい非難場所等の指定について
- ② 城下地区の水害時における住民の避難方策について
- ③ 避難所における体育館の鍵の地元(住民自治組織)への貸与について



④ 避難所設置に向けた行政と地元自治会との連携協力について

⑤ 台風襲来等に伴う須川池の事前放流（緊急放流）について

・市の対応

市長から市の基本的な認識、危機管理防災課長から項目ごと取り組みの現状等の説明があった。市の対応については、後日文書により回答されることとなった。

- ・出席者〔上田市側〕 市長、危機管理防災課長、係長、他職員1名、城南公民館担当（滝澤）
〔要望者側〕 宮下市議、増澤未来会議会長、柳沢環境建設協議会長、
関城下自治連会長・各自治会長 他



城下あいさつ・声かけ運動（7月1日実施）



「あいさつで明るい未来のまちづくり」のスローガンのもと、本年度第1回目となる「城下あいさつ・声かけ運動」が城下地域の交差点、自治会指定の場所、保育園・学校関係、福祉施設等で行われました。

笑顔あふれ、大きな声が城下地域に広がりました。

写真は、上田千曲高校の様子です。



フードドライブ（8月17日実施）

「食料支援」と「食品ロスの削減」を目指し、フードドライブを旧JA城下店駐車場において開催しました。

フードドライブは、家庭で余っている食品を学校や職場などに持ち寄り、食べ物を必要とする団体や福祉施設等に寄付をする活動です。猛暑の中、各自治会の福祉担当役員さんを中心に行われました。米52kg、ジャガイモ15kg、インスタント食品、レトルト食品等53点

をご提供いただき、上田市社会福祉協議会に寄付しました。（社協からは、荻原宏樹さん、新関崇之さんに応援していただきました。）ご協力いただいた皆様に、感謝と御礼を申し上げます。



第3回 城下消防まつり 開催のお知らせ

城下地区の防火・防災について、消防まつりを通して楽しみながら考えましょう！

日時 令和7年10月19日（日） 午前9時～午前11時30分

場所 上田市立城下小学校校庭

内容 〔体験コーナー〕消防車両試乗体験、放水体験、消火器取扱体験、煙体験、
AED取扱体験、はしご車試乗体験

〔防災展示コーナー〕台風19号関連パネル・ポスター、防災・避難所用品等展示

〔フードコーナー〕焼きそば

〔イベント〕消防団ラッパ吹奏、城下小学校金管バンド吹奏、第六分団ポンプ操法

〔関連イベント〕フードドライブ（城下地区社会福祉協議会主催）

※昨年度に引き続き、上田市の「活力あるまちづくり支援事業」の採択を受けました。

